

# 志木市ICT戦略ビジョン 概要

## ICT戦略ビジョンの趣旨

- 2040年頃にかけての全国的な人口減少が問題化しており、行政運営についても、労働人口の減少に伴う職員の減少が懸念
- 新型コロナウイルス感染症により、新たな生活様式が求められている中、窓口に行かなくていい行政サービスの仕組みづくり実現が命題
- 行政サービスの質を維持するため、AIやICTを活用した行政運営が必要
- Society5.0の実現と自治体デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進することで、行政事務の効率化と行政サービスの向上を図る
- ICT戦略ビジョンでは、**5つの基本方針**を基に、志木市のICT化を戦略的に進める

## ICT戦略ビジョンの位置づけ

- ◆ 志木市の情報化計画とする
- ◆ 志木市将来ビジョン（第五次志木市総合振興計画）をはじめとした志木市の各種計画をICT及びデータ利活用の観点から下支えする計画とする
- ◆ デジタル社会形成基本法（令和3年9月1日施行）の基本理念がベース
- ◆ 情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律（平成15年2月3日施行）の基本原則の取り組みを進める
- ◆ 官民データ活用推進基本法（平成28年12月14日施行）の内容が含まれていることから志木市官民データ活用基本計画にも位置付ける
- ◆ 地方公共団体情報システム標準化に関する法律に適合させる
- ◆ デジタル・ガバメント実行計画（令和2年12月25日改定）の取り組みを進める計画とする
- ◆ 自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画（令和2年12月25日閣議決定）の重要取組事項を進める計画とする

## ICT化を推進するための課題

- ◆ 情報システムの運用管理におけるスキル及び人材の不足
- ◆ ICT化の運用と理解
- ◆ 今後のICT化への対応力
- ◆ デジタル手続法の推進

### ①スマート自治体を目指し、ICT技術で行政サービスの利便性を向上

- 新たなICT技術の活用
- マイナンバーカードの普及と活用
- SNSを活用

### ②自治体DXを実現するため、ICT技術で行政事務を効率化

- 既存業務の見直しに伴うICT技術の導入
- 自治体クラウドの推進

### ③オープンデータの充実と利活用

- オープンデータの提供と活用

### ④ICT人材の育成

- 職員のITリテラシーの向上とICT人材の育成

### ⑤情報セキュリティの強化とセキュリティインシデントに対応するCSIRTの明確化

- 情報セキュリティへのICT技術の活用
- 情報システム監査の実施
- CSIRTの設置

## 5つの基本方針

## 今後の推進体制

全庁的にICT化の現状把握と運用状況を確認し、進捗状況を管理

これからのICT化に向けた取り組みについて、情報政策部門が企画段階から積極的に関与

政策部門・財政部門とも連携しながら、志木市のICT化を戦略的に進める